

以下の記事は、CBC News 無料記事の、AALA ニュース編集部による和訳である。なお訳出にあたって、Web 上の無料翻訳機能を活用し、その出力結果を一部修正したが、速報のための仮訳として理解いただきたい。(SS)

CBC News
Jul 12, 2023

世界の多くは、クラスター爆弾は不道德だと言っている。 では、なぜウクライナはクラスター爆弾に熱心なのか？

Much of the world says they're immoral. So why is Ukraine so keen on cluster bombs?

<https://www.cbc.ca/news/world/cluster-munitions-ukraine-ban-1.6903348>

By Mark Gollom

要約



先週、米国が対ロシア戦争でウクライナにクラスター弾を提供する決定を下した。

これに対し、人権団体や、条約に署名した NATO 諸国が非難している。

以下本文

クラスター弾は何千人もの民間人を死に追いやり、120 カ国以上で使用禁止になっているが、軍事専門家によれば、ウクライナ軍にとってロシア軍に対する効果的な武器になるという。

軍事専門家は、「これらの兵器が非常に効果的であることは間違いない。ゲームチェンジャーにはならないだろうが、ウクライナを有利にするだろう」と述べる。

クラスター爆弾は、空中で開いてより小さな「爆弾粒」を広範囲に放出する爆弾である。この爆弾は、複数の標的を同時に攻撃し、部隊だけでなく戦車や装備を破壊するように設計されている。

別の専門家は「ウクライナはこれで、実質的に数十万発の砲弾を手に入れたことになる」とのべた。(これはクラスター爆弾の高い対人殺傷能力を示している)

米国のクラスター弾決定は NATO の結束を揺るがす

米国がクラスター弾の提供を決定したことは、人権団体や、クラスター弾禁止条約(2010年発効)に署名した NATO 諸国から非難されている。米国はこの条約に署名していない。(同時にインドシナなどにおける史上最大の加害者でもある)

先週、米国がクラスター弾の提供を決定したことは、人権団体や、2010年にクラスター弾の使用、製造、備蓄を禁止する条約に署名した NATO 諸国の一部から非難されている。米国は条約に署名していない。

クラスター爆弾は、空中で開いてより小さな「爆弾粒」を広範囲に放出する爆弾である。この爆弾は、複数の標的を同時に攻撃し、部隊だけでなく戦車や装備を破壊するように設計されている。

重大な影響

Center for Naval Analyses のロシア研究ディレクターであるマイケル・コフマンは、一連のツイッター投稿で次のように断言した。

このような兵器はウクライナの反転攻勢に重大な威力を加える可能性がある。欠点はあるものの、ウクライナの攻勢にとって重要な意味を持つ。今回の攻勢はこの弾薬がなければ成功することはない

ウクライナは弾薬を必要としている

米国は自国の在庫から従来の 155 ミリ榴弾砲を供給しており、200 万発以上をウクライナに送っている。2022 年 2 月 24 日にロシアが隣国に侵攻して以来、世界中の同盟国がさらに数十万発を提供している。

しかし標準的な高火力砲弾の在庫は非常に少なくなっている。

「米国は新たな生産が可能になった砲弾を提供し続けているが、その数はウクライナの砲兵のニーズを満たすには十分ではない。クラスター弾がそのギャップを埋めるだろう」とコフマンは最近書いている。

ロシア軍に対するウクライナの反攻は、期待されたほど急速に進んでいない。

「彼らは後押しを必要としている.....

そして、米国は基本的に通常の砲弾を使い果たしてしまった。いま使えるのはクラスターだけだ」

ウクライナがクラスター弾を欲しがっているのには、別の戦術的理由がある。歩兵、大砲、車両護衛などのエリア・ターゲットに対して非常に効果的だからだという。

実際その強烈で広範囲な爆撃効果から、クラスター弾には「**鋼鉄の雨**」というニックネームがついている。コフマンはいう。

「つまり、クラスター弾には二重のメリットがある。ひとつは、より多くの砲弾が手に入ること、もうひとつは、より効果的な砲弾が手に入ることだ」

クラスター弾は少ない弾数で済む

プロブスト氏によれば、クラスター弾は通常の砲弾に比べて殺傷力が高く、特に塹壕にこもる敵兵の除去に有効だ。

「多数の弾丸を発射すれば、そのうちの少なくとも1発が塹壕に着弾する可能性が高くなる」

図は略

ロンドン王立軍事研究所の専門家はこういう。

クラスター弾は塹壕部隊に対する砲撃の効率を大幅に増大させます。ベトナム戦争中、戦闘で死亡したベトナム兵一人当たりに発射された通常弾丸の数は13.6発でした。これに対し、クラスター弾ではわずか1.7発でした。

ウクライナでロシアの防衛要塞に対して発射された通常砲弾は、塹壕に直接着弾しない限り、ロシア軍を殺す確率は極めて低いと思われます。これとは対照的に、クラスター弾は72発の弾丸を広範囲に散布するため、複数の弾丸の爆風が塹壕内の部隊に直接当たる確率

が大幅に高まる。その結果、致死効果と制圧効果が格段に高まります。

最も重要なことは、ウクライナ軍にクラスター弾を与えることで、戦場で効果を発揮するために発射する総弾数が少なくなり、「戦闘を大幅に長く維持できるようになる。紛争を長引かせようとするロシアの現在の戦略を考えれば、これは極めて重要である」とワトリングとブロンクは書いている。

高い不発率 米軍は安全というが根拠を示さない

しかし、赤十字国際委員会によれば、これまでの紛争ではクラスター弾の不発率は高く、最近の紛争では40%に達するものもあったという。つまり、何千もの不発弾が残存し、民間人を殺傷しているのである。8万人以上の民間人が犠牲になったという推定もある。

クラスター弾禁止条約に加盟していないロシアとウクライナは、戦争中にクラスター弾を使用したとして非難されている。

「クラスター爆弾連合」(Cluster Munition Coalition)は、バイデン米大統領がウクライナにクラスター弾を送ったことに反対する公開書簡を発表した。その中で、クラスター弾は「民間人にとって最も有害な兵器のひとつである」と述べている。

連合軍によれば、この弾薬は広範囲に無差別に拡散するように設計されている。

紛争が終わってから何年も経ってから、地域社会に不安定な不発弾を散乱させ、民間人、特に子どもたちに壊滅的な被害を与える。

ウクライナは、自国の領土を防衛するためにクラスター弾を使用することで、戦術的な利益を得る可能性があると主張する。しかし同時に、それは別の2つのことを意味する。

すなわち、クラスター弾が民間人にもたらす深刻な危険を秘匿し、「クラスター兵器禁止条約」という国際的なコンセンサスを真っ向から否定することである。

ヒューマン・ライツ・ウォッチは、ワシントンがウクライナにクラスター弾を送ることを決定する前に、すでに次のように述べている。「米国が検討しているクラスター弾は20年以上前のもので、広範囲に散布され、故障率が高いことで知られている」

いっぽう、米政府関係者は送付予定の弾薬の「不発弾率」は2.35%以下に抑えられていると主張している。しかし、軍備管理協会のダリル・キンボール事務局長は、CBCとのインタビューで、米政府のデータの信頼性に疑問を呈した。

これらの数字は国防総省の独自評価だ。裏付けとなる調査やデータを提供していません。私たちが同盟を結んでいる、不発弾の紛争地域を減らすために現場で働いている人たちがいます。彼らは地雷やクラスター弾の不発率が、宣伝されているよりも高いことを知っています。

これらの事実を前にして、戦略国際問題研究センターのカンシアン氏は言う。「仮に不発率がアメリカ当局の発表の2倍であったとしても、なおかつクラスター弾は「かなり効果的」である」と。

彼の主張の核心はここにある。

ウクライナがクラスター弾を使用する論拠の核心は、戦争が続くたびにウクライナの市民が殺されていることである。だから不発弾が自国民を殺すことは承知の上で、クラスター爆弾のリスクと天秤にかけなければならないことだ。

ウクライナの兵士は「この戦争で毎日経験した苦しみを考えれば、そのリスクは引き受ける」と言った。それは合理的なトレードオフだと思う。
